

議 事

（午後2時0分開会）

○委員長（壬生 潤） ただいまから、未来都市創造に関する特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に取りまとめる提言について御協議いただくため、お集まりいただいた次第であります。

最初に、自由民主党さん、日本維新の会さん、日本共産党さん及びこうべ未来さんから、本日の委員会の模様を写真撮影したい旨の申出がありますので、許可いたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（壬生 潤） それでは許可することにいたします。

次に、本委員会の模様を朝日新聞さんから録音をしたい旨の申出がありますので、許可いたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（壬生 潤） それでは許可することに決定いたしました。

これより、本委員会に取りまとめる提言について委員間討議を行います。

前回の委員間討議の内容を踏まえ、理事会で協議をいたしました結果、提言書案「新国際都市・神戸 ～多様な人材が活躍できる都市を目指して～」を取りまとめ、事前に配付しておりますので、本日はこれを基に協議を進めてまいります。

提言の概要ですが、まず、はじめにでは、提言の趣旨・目的等を記載しております。

次に、提言項目は、前回の委員間討議を基に、理事会での協議も踏まえて作成した計21項目を記載しております。

最後に、令和7年度の委員会活動状況を記載しています。

それでは、本提言書案について御意見等はございませんか。

○委員（伊藤めぐみ） 取りまとめていただいてありがとうございます。少しだけ気になったのが2番なんですけれども、インバウンド依存に偏ることなくってという言葉が——インバウンド依存をしているのかどうか、神戸市が、というのがちょっと不明なのと、偏らないっていうのはすごく大事だと思うんですけれども、言いたいことは、観光政策実施に当たっては地域住民、地域の方々が困られないようにですとか、オーバーツーリズムの問題とかということなんですけれども、そこは全然大丈夫なんですけれども、インバウンド依存なのかなっていうところがちょっと、はてながつきましたので意見を言わせていただきます。

○委員長（壬生 潤） これについて、何かございませんか。

○理事（西ただす） この前の委員会のおきもお伝えしましたが、確かにオーバーツーリズムとか、そういうのはなくて、インバウンド——今後やっぱり海外からいろいろ、たくさんの方を受け入れていこうということ、ぐっというふうにやられているっていうのがあると思うんですね。そういう中で、やっぱり国内の方の旅行者も大事にしながらかっていき。やっぱり国内の——何て言うんですかね、今起こってるっていうことでは、海外からたくさん人を呼び込むっていうことは、国の政策としても出てきてるんですけども、やっぱりもうちょっと国内のほうにもたくさんの方が来てくれるっていうようなことを考えていった方がいいんじゃないかなというところの思いというか、それでこういう言い方をしたんですね。

地域住民との合意を得て進めるってということ自身は、やっぱり今まで暮らしていた人たちとの——いろんな生活している中で、ぶつかるというか、観光が優先されて、住んでいる人との関係で、そこにある土地の風景であるとか、いろんな問題が出てきてしまったらいけないという思いで書いたわけです。

この間、空港の問題とかも言われてて、特にいろんな形で——今海外からってということで、空港のことでよく言われてましたので、やっぱりそれだけじゃなくて、いろんな形で神戸に来てくれる方はいらっしゃるから、そこも大事にしていきたいという思いぐらいですかね。

○委員長（壬生 潤） という趣旨だそうですけども。

○委員（岩谷しげなり） 一応、思いというところでおっしゃられたんですけど、多分、伊藤委員の御指摘っていうのはインバウンド依存っていうところで、そもそもそういう、言わば立法事実みたいなものが、今の神戸市にあるのかどうかっていうところで、もしかしたら、こういう表現が出てきてしまったら、ミスリードになってしまうんじゃないかという、そういう御指摘だったのじゃないかなとは思んですけど、その点、表現方法等、どうやって変えていくかっていう点に関して、今、何か西理事のお話をお伺いしたら、もうちょっと表現方法を変えたほうがいいんじゃないかなとは思んですけど、いかがでしょうか。

○委員長（壬生 潤） いかがですか。

○理事（西ただす） ちょっとごめんなさい。今、どの表現がいいっていうのもちょっとないんですけど、それは表現方法というのは話して決めたらいいと思います。

○委員（伊藤めぐみ） そうですね、インバウンドの方は本当、神戸空港と、あと外国船のクルージング船が本当にたくさん来られてまして、地域経済のためには必要だなとは思いますが、1番のほうの提言項目には、関係人口をちゃんと創出して地域で——一部の地域だけではなく、私的には北区とか、広い神戸市内をいろんなところに関係人口を創出してほしいなという思いがありますので、このインバウンド依存に偏ることなくっていうのがなくてもいいのかなと思いますし、別の文言で言い換えるほうがベストであれば、それでもいいかなと思うんですけども。思いとしたり、分かります。コロナのときのように、海外と閉ざされてしまった場合ですとか、そういうときには極度に悪化するということか、思いがおありと思うんですけど。でも開かれたまち神戸で、外国の方々もウェルカムなまちですし、新国際都市・神戸としての提言なので、インバウンド依存に偏っているのかどうかっていうことは含めなくてもいいのかなとは思いました。意見です。

○委員長（壬生 潤） これについて他にございますか。

○委員（吉田健吾） 伊藤委員と同じです。多分、400数十万人宿泊者がいて、そのうち140万人ぐらいが多分外国人旅行者数なので、依存は確実にしてない状況——他都市に比べるとインバウンドが少ないというのが、今、神戸の現状ということなので、岩谷委員も御指摘のように、事実関係がちょっと異なるのかなと思ってます。

また、この文章の2行目の合意を得て進めることって、その合意っていうのが何なのかなっていう。いやもう、うちの前には外国からの人は来てもらいたくないですって全員でちょくちょく言われたら、もう面として取り組むことができないので、合意っていう言葉が果たして適切なのかどうかっていうのもちょっと提起したいなと思っています。

私自身は、しっかりと地域とコミュニケーションを取りながらっていうようなぐらいのことが多分あり得る、現実的なところなのかなと思ってます。これはあくまで委員会として市長に提言

なので、合意しないといけないんですよっていう委員会で、全員の総意でそれが言えるかという
と、私は、じゃないのかなと思っております。

○委員長（壬生 潤） これについていかがですか。

（なし）

○委員長（壬生 潤） 他になければ、理事会でこの議論をさせていただいていいですか。この件
につきましては。

（「はい」の声あり）

○委員長（壬生 潤） では、他にございますでしょうか。

よろしいですか。

（なし）

○委員長（壬生 潤） それでは、本件につきましては、理事会で議論をさせていただくことにい
たします。

この件について、理事会に一任をいただきたいと思いますけれども、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（壬生 潤） ありがとうございます。それでは、理事の皆様におかれましては、よろし
くお願いいたします。

次に、提言書の取扱いにつきましてですけれども、4月16日に正副委員長及び理事が本委員会を
代表して市長に提出いたしますので、御了承願います。

次に、4月24日に開催を予定しております市民報告会についてであります。

案内チラシを事前に配付しておりますので、市民参加の募集につきまして委員各位の御協力を
お願いいたします。

なお、申込み開始日は本日4月10日からとなっております。また、市会ホームページ内の関連
ページで、本日御承認をいただいた提言書や案内チラシを掲載する予定ですので、お含みおき願
います。

本日御協議いただく事項は以上でございます。…（発言する者あり）

○委員（森本 真） 報告集会のビラなんですけれども、一応、18時から予定となっているんですが、
広報紙K O B Eの4月号はもう掲載をされてると思うんですが、開始時間と、あと開場の時間を
ちょっと明確にしておいたほうがいいんじゃないかなというふうに思ったりするんですが。

○委員長（壬生 潤） 受付を何時からで、開会は何時からということですか。そういう意味です
か。

受付時間を決めたほうがいいんじゃないかということですか。

○委員（森本 真） そうです。早い人は早く来るし、準備の1時間前ぐらいに来る人いるでしょ
う、結構。だから30分前に開場とか、決めとったほうがいいんじゃないかなと思うんですけど。

○委員長（壬生 潤） 皆さん、いかがですか。

○理事（やのこうじ） 事前の申込制なので、今森本委員がおっしゃられた内容を、当選した方に
送ってあげたらいいと思いますけど。あと、終了予定時刻も。

○委員長（壬生 潤） ではそのような形で、よろしいですか。

他にございませんか。

（なし）

○委員長（壬生 潤） それでは、本日の委員会はこれをもって閉会いたします。どうも御苦労さまでした。

引き続き理事会を行いますので、よろしく申し上げます。

（午後 2 時12分閉会）